

Princeton

USB2.0 オーディオキャプチャユニット

デジ造 PCA-ACUI

Digital Creation Gear Digizo

活用ガイド

—基本操作編—

本書では、本製品付属の音声編集ソフト『5star Audio Studio LE』を使用した音声の録音と『5star Audio Studio LE』の主な使い方を紹介します。

！ 本書をお読みいただく前に

本書をお読みいただく前に、必ず「設定ガイド」に従ってドライバ(ソフトウェア)のインストールを行ってください。
また、5star Audio Studio LE に関する詳しい使用方法については、インストールした本ソフトの PDF マニュアルを参照してください。

■5star Audio Studio LEについて

本製品に付属している『5star Audio Studio LE』は、一部の機能のみ利用できる機能限定版のソフトウェアです。製品版とは異なり「ディスクからの変換機能」「音楽CDの作成機能」「CDディスクのコピー機能」「ディスクの作成機能」を使用することができません。製品版を購入することで、すべての機能を使用することができます。

最新の情報や製品に関するご質問等は下記サポートフォームに質問内容を記載してください。

⇒ <http://optmarket.jp/support/form.html>

※受信確認後、1営業日中にてご連絡させて頂いておりますが、ご質問の内容または混雑の状況によっては多少のお時間を頂く場合がございます。

オーディオ機器の接続

本製品には、レコードやMDプレーヤー、ラジカセなど音声出力端子を搭載したオーディオ機器を接続することができます。オーディオ機器との接続は、2種類の方法があります。

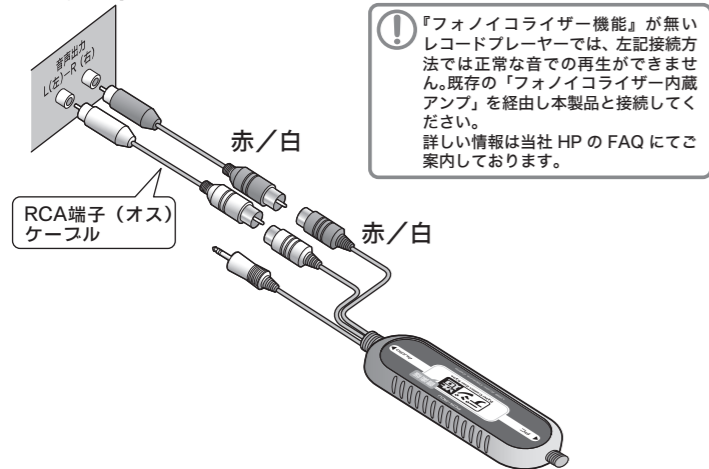


■RCA端子で接続する場合



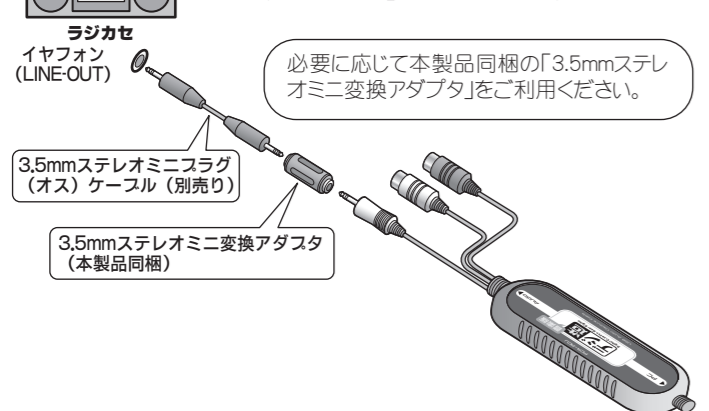
オーディオ機器の音声出力端子を本製品のRCA端子に接続します。その際、必要に応じて「RCA端子(オス)ケーブル」をご用意ください。

！ 『フォノイコライザー機能』が無いレコードプレーヤーでは、左記接続方法は正常な音での再生ができません。既存の「フォノイコライザー内蔵アンプ」を経由し本製品と接続してください。詳しい情報は当社 HP の FAQ にてご案内しております。



■3.5mmステレオミニプラグで接続する場合

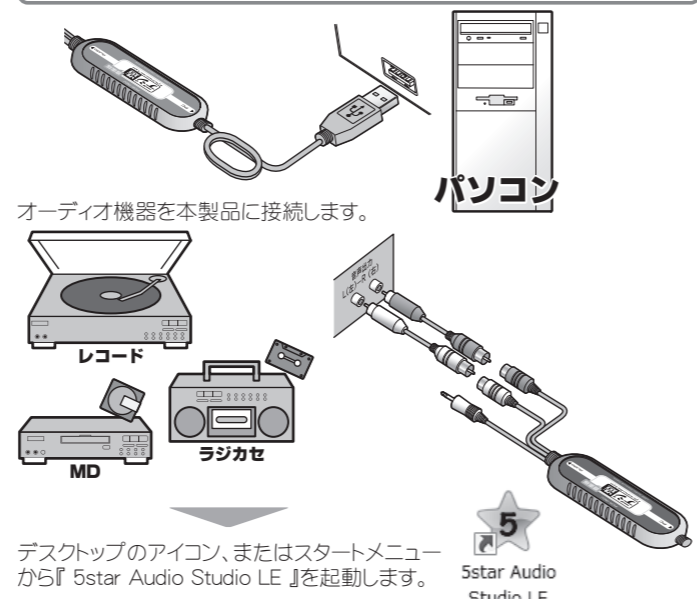
ラジカセなどのイヤホン端子と本製品の3.5mmステレオミニプラグを接続します。その際、必要に応じて本製品同梱の「3.5mmステレオミニ変換アダプタ」をご利用ください。



音声の録音 ～iTunesに音声データを取り込む～

パソコンの起動後、本製品の USB コネクタを、パソコンの USB ポートに接続します。

！ 『5star Audio Studio LE』を使用してiTunesに音声を取り込む場合は、ご利用になるパソコンに、あらかじめiTunesがインストールされていることを確認してください。iTunesの操作方法や設定方法については、iTunesのヘルプを参照してください。



左のメインメニューから「外部機器からの録音」を選択して、「キャプチャデバイス(ノース)」から「マイク(USB PnP Audio Device)」を選択します。



「ファイル形式」をクリックして、録音データの保存形式を選択してください。iPodで聴く場合には、「MP3ファイル」を選択します。

！ 詳しい画面の説明や機能については、ソフトウェア付属のPDFマニュアル P.30～35を参照してください。



「ビットレート」をクリックして、録音データのビットレートを選択してください。

！ ビットレートの値を大きく設定すると、作成するデータの量が大きくなります。本ソフトの標準設定値は192kbpsです。尚、WAV形式で録音する場合は、ビットレートの設定はできません。



「iTunesライブラリに追加する」にチェックを入れて、「ファイル名」をクリックして、録音データの保存先とファイル名を選択してください。

！ ファイル名を設定しない場合、「新規ファイル.mp3」の名前で保存されます。保存先のハードディスクの空き容量には十分注意して設定してください。

オーディオ機器で音声を再生します。

！ オーディオ機器で再生される音をパソコン側で聴くことはできません。再生状態はモニタの波形で確認する事が可能です。

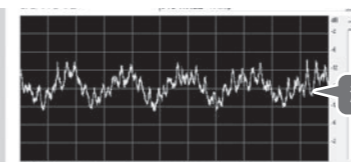


再生スタート！

！ 音声入力できているか確認するには？

オーディオ機器と正しく接続されている場合、オーディオ機器から音声の入力があると画面の「ビジュアルイゼーションモニタ」が録音状況に応じて動きます。(下図ビジュアルイゼーションモニタは初期設定のものです。)

■ビジュアルイゼーションモニタ表示例



波形が動きます

オーディオ機器側で再生しているにも関わらず波形が動かない場合は、下記の事項を確認してください。

- ・本製品とオーディオ機器は正しく接続されていますか？
- ・オーディオ機器の音量がゼロになっていませんか？
- ・オーディオ機器で音声の再生が停止していませんか？
- ・「キャプチャデバイス(ノース)」は「マイク(USB PnP Audio Device)」を選択していますか？

録音した音声にノイズがのる場合

- ・オーディオ機器側の音量を上げてください。
- ・パソコンの録音デバイス(マイク)の設定で、録音レベルを下げてみてください。



コントロールパネルから「サウンド」を選択するか、タスクトレイのアイコンを右クリックして、マイクの音量を調整してください。(画面は、Windows Vistaの場合)

ビジュアルイゼーションモニタの波形が動き始めます。

！ ファイル名は必ず確認しましょう。

録音スタート！

クリック

録音する箇所で、「開始」をクリックしてください。音声の録音を開始します。

録音ストップ！

クリック

停止する場合は、「停止」をクリックしてください。

「iTunesライブラリに追加する」がチェックされている場合、録音終了後自動的にiTunesが起動され、録音したデータがライブラリに追加されます。

引き続き音声を録音する場合は、「ファイル名」を変更して再度「開始」をクリックして、同様の手順で録音を繰り返してください。

クリック

音声の編集（波形編集画面）

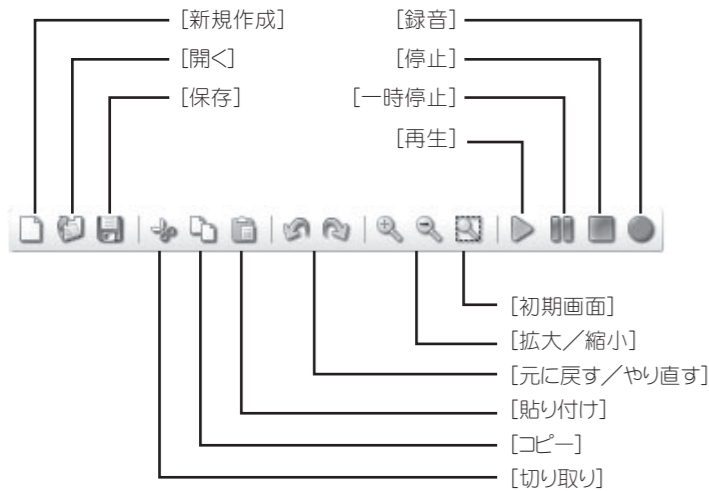
画面左のメニューから[オーディオの編集]を選択します。
5star Audio Studio LEでは、録音した音声の編集が可能です。
詳しい編集方法については、ソフトウェア付属のPDFマニュアルを参照してください。

音声を編集する（オーディオの編集）

[開く]をクリックして、編集する音声ファイルを表示します。
音声ファイルの波形が表示されます。



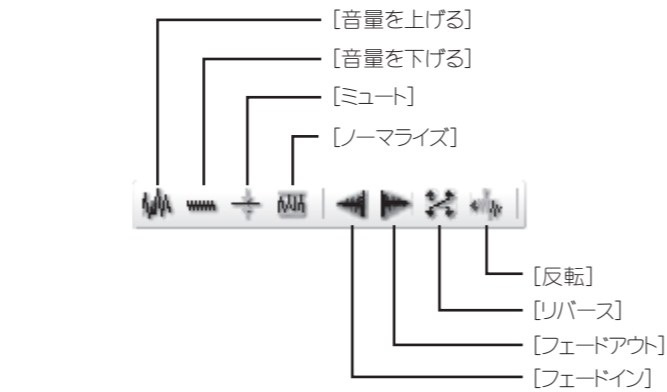
波形編集メニュー



- 【新規作成】** 編集画面を新規表示にします。音楽ファイルがすでに開かれている場合編集内容は破棄して新規作成画面になります。
- 【開く】** パソコンに保存されている音楽ファイルを選択して開くことができます。
- 【保存】** 編集した音楽ファイルを保存することができます。
- 【切り取り】** 波形編集画面で範囲指定した部分を切り取ることができます。
- 【コピー】** 波形編集画面で範囲指定した部分をコピーすることができます。
- 【貼り付け】** 波形編集画面で範囲指定して「切り取り」や「コピー」した箇所を指定した部分に貼り付けることができます。
- 【元に戻す】** 操作を間違った時など作業内容を一つ前の状態に戻す、または元に戻した作業内容から一段階進めることができます。元に戻す場合は、必ず音楽を停止してから実行してください。音楽ファイル保存後は編集内容を戻すことはできません。
- 【拡大】** 波形編集画面で範囲指定した部分を拡大して表示することができます。または、拡大した表示部分を一段階倍率を戻すことができます。
- 【縮小】** 拡大した表示部分を一段階倍率を戻すことができます。
- 【初期画面】** 拡大した波形編集画面を通常の倍率に戻すことができます。
- 【再生】** 波形編集画面に表示されている音楽ファイルを再生することができます。
- 【一時停止】** 再生している音楽ファイルを一時停止することができます。
- 【停止】** 再生している音楽ファイルを停止し、曲の最初まで戻ることができます。
- 【録音】** 設定されている入力より録音を行うことができます。

詳しい画面の説明や機能については、ソフトウェア付属のPDFマニュアル P.36～39を参照してください。

波形編集メニュー（つづき）



- 音量を上げる/音量を下げる**
範囲指定した箇所の音量を上げる(下げる)ことができます。
- ミュート**
範囲指定した箇所の無音にすることができます。
- ノーマライズ**
範囲指定した箇所の音量を平均化することができます。
- フェードイン/フェードアウト**
範囲指定した始点から終点へ音量を徐々に上げる(または、始点から終点へ音量を徐々に上げる)ことができます。
- 反転**
範囲指定した波形を逆さにすることができます。
- リバース**
範囲指定した部分を逆再生することができます。

操作方法

編集範囲を指定して、編集ボタンを押してください。



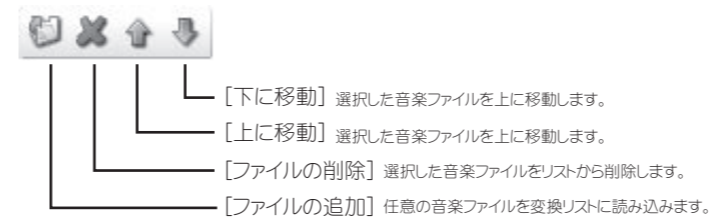
音声データの変換（ファイルからの変換）

詳しい画面の説明や機能については、ソフトウェア付属のPDFマニュアル P.42～47を参照してください。

画面左のメニューから[ファイルからの変換]を選択します。
パソコンに保存されている複数の音声ファイルを、別のファイル形式に一括変換保存することができます。詳しい編集方法については、ソフトウェア付属のPDFマニュアルを参照してください。

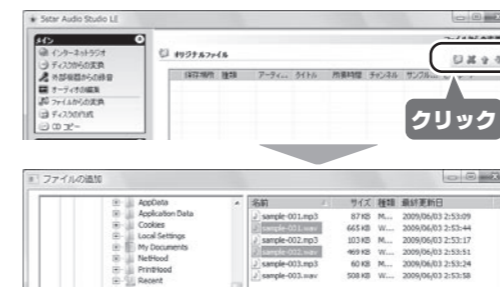


変換メニュー



変換方法

[ファイルの追加]をクリックし、変換する音楽ファイルを選択し[OK]をクリックします。



変換可能な音楽ファイルは、WAV/MP3/WMA/Oggのみとなります。
「変換後にオリジナルファイルを削除する」にチェックを入れると、ファイル変換後にオリジナルファイルは削除されます。

変換後のデータを保存する場所を選択します。



変換するファイル形式を選択します。

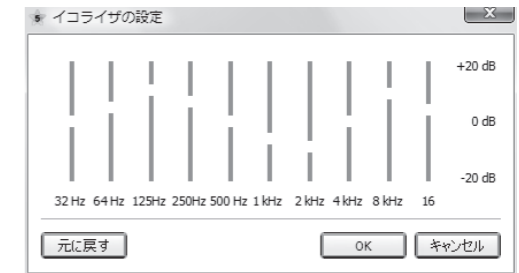
音声の劣化を防ぐには、出力設定の「サンプルレート」を入力したファイルと同じ値に設定してください。

[変換]を押すと、リストに表示されているファイルを全て一括変換します。



■イコライザの設定

[イコライザ設定ボタン]を押すと、イコライザ画面が表示されます。



この画面では、特定の周波数帯を変更することで、音質を変更することができます。

■イコライザ/ノーマライズを適用する



ファイル変換時に、[イコライザを適用する]に印を付けて、[変換]を押すと、イコライザの設定内容が反映されます。また、[ノーマライズを適用する]に印を付けて、[変換]を押すと、全てのファイルがノーマライズ処理されます。

ノーマライズとは

複数の曲の音量をそろえる機能です。
選択した全てのファイルで再生時に適切なボリュームに変更する事ができます。

便利な使い方

iTunesライブラリに追加する

[外部機器からの録音][オーディオの編集][ファイルからの変換]画面で、『iTunesライブラリに追加する』に印を付けると、録音または編集した音楽データをiTunesに転送することができます。



[外部機器からの録音]画面で、[設定]ボタンを押すと、『クイック録音』または『スケジュール録音』の設定画面が表示されます。

クイック録音機能

一定時間の録音を行う場合に設定します。
ラジオボタンを選択し録音時間を入力します。



スケジュール録音機能

日時を指定して録音開始/終了時間を設定する事が可能です。
ラジオなどの予約録音などに便利です。

